

I 障がい者差別解消及び障害理解促進に向けた取組

(1) 障がい者の状況

令和5年4月1日における本市の人口は91,067人である。そのうち、障がい者手帳の所持者数は4,757人(重複含む。)で、人口に占める手帳の所持者の割合は5.2%である。

身体障害者手帳の所持者数は減少傾向にあり、平成30年と比べ312人(9%)の減である。

知的障がい者(療育手帳の所持者)数は増加傾向にあり、平成30年と比べ82人(11%)の増である。障害程度別では、A(重度)が20人(8%)、B(中・軽度)が62人(15%)の増となっている。

精神障害者保健福祉手帳の所持者数は増加傾向にあり、平成30年と比べ229人(48%)の増である。等級別では、1級が22人(56%)の増、2級が125人(37%)の増、3級が115人(112%)の増となっている。

ア 障がい者手帳所持者数の推移

(人)

	H30	H31	R2	R3	R4	R5
人口	93,343	92,867	92,689	92,130	91,458	91,067
身体障がい者	3,600	3,557	3,492	3,429	3,346	3,288
知的障がい者	675	690	705	719	733	757
精神障がい者	480	524	586	600	709	737
手帳所持者計	4,755	4,771	4,783	4,748	4,788	4,782

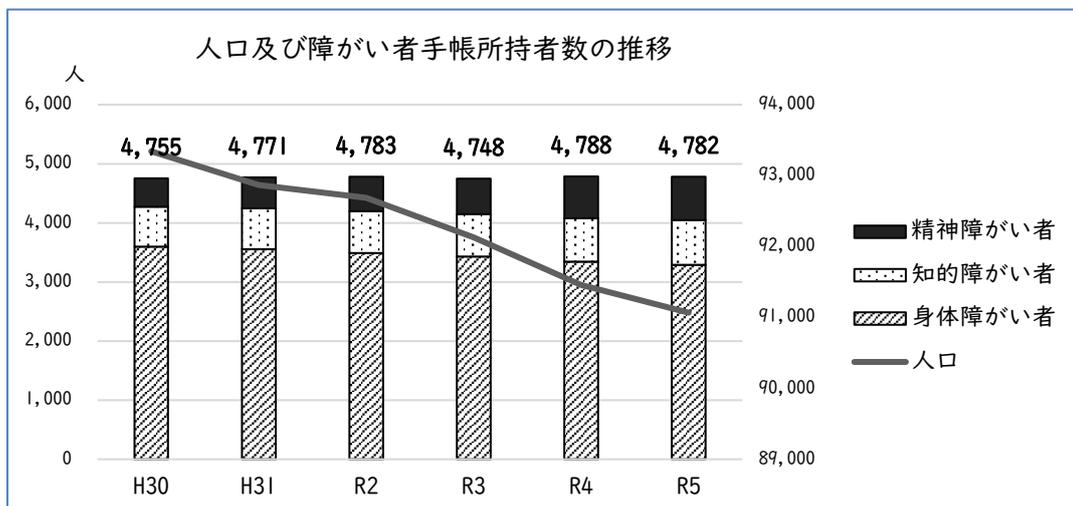
各年4月1日現在

手帳別所持者の人口に対する割合の推移

(%)

人口	H30	H31	R2	R3	R4	R5
身体障がい者	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6
知的障がい者	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8
精神障がい者	0.5	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8
手帳所持者計	5.1	5.1	5.2	5.2	5.2	5.3

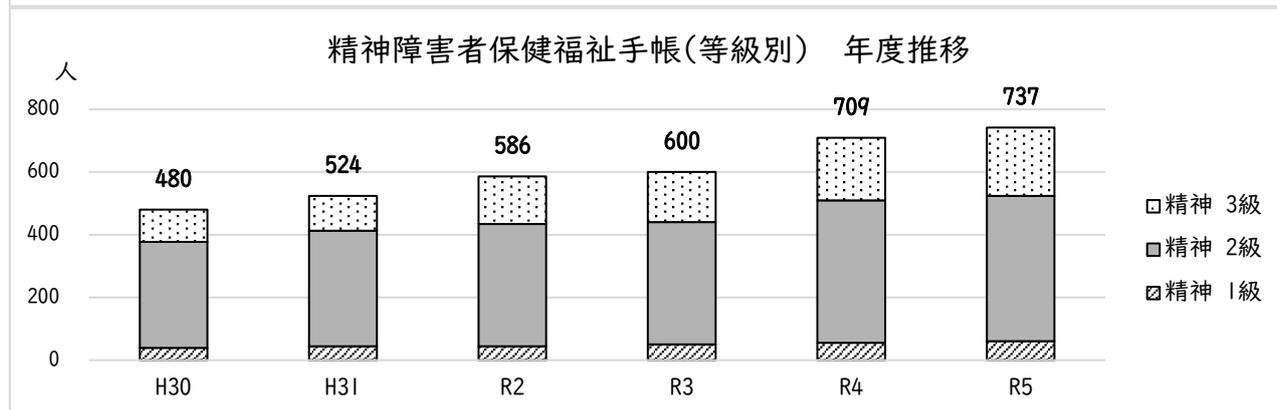
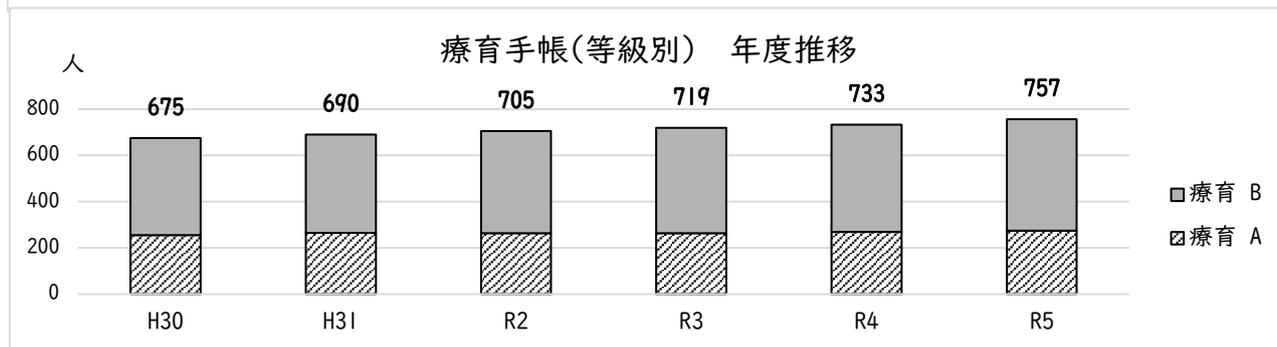
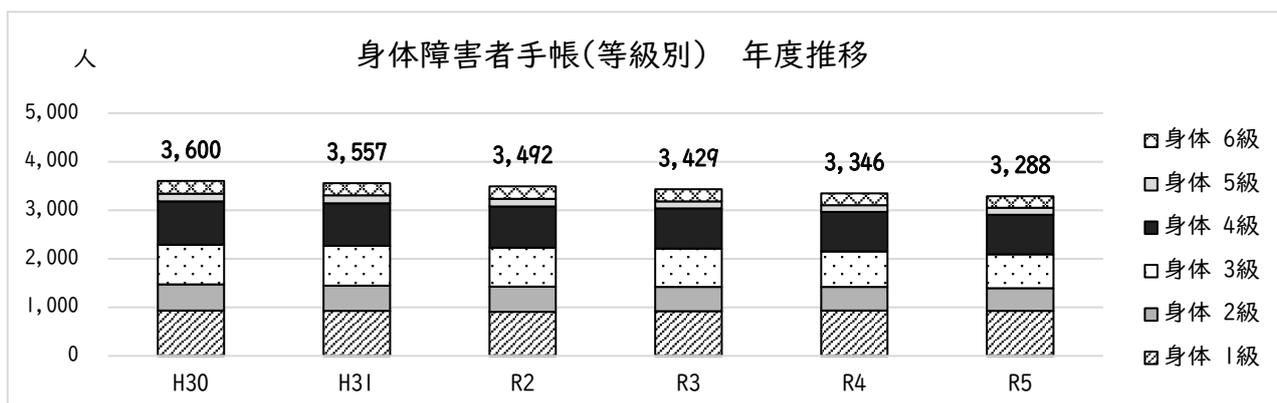
各年4月1日現在



イ 障がい者手帳等級別内訳の推移

(人)

区分		H30	H31	R2	R3	R4	R5
身体	1級	935	926	911	921	932	930
	2級	535	523	513	502	490	467
	3級	816	821	806	784	730	696
	4級	895	871	849	832	812	815
	5級	160	167	159	145	141	142
	6級	259	249	254	245	241	238
	計	3,600	3,557	3,492	3,429	3,346	3,288
療育	A	255	265	263	264	269	275
	B	420	425	442	455	464	482
	計	675	690	705	719	733	757
精神	1級	39	44	44	51	56	61
	2級	338	369	390	390	454	463
	3級	103	111	152	159	199	213
	計	480	524	586	600	709	737
合計		4,755	4,771	4,783	4,748	4,788	4,782



ウ 身体障害者手帳交付者の内訳

令和5年4月1日現在

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計	割合
視覚障害	60	48	9	14	20	12	163	5.0%
聴覚・平衡機能障害	23	71	52	51	4	150	351	10.7%
音声・言語・咀嚼機能障害	1	3	17	19	0	0	40	1.2%
肢体不自由	299	328	296	387	118	76	1,504	45.7%
内部障害	547	17	322	344	0	0	1,230	37.4%
合計	930	467	696	815	142	238	3,288	100.0%
等級別割合	28.3%	14.2%	21.2%	24.8%	4.3%	7.2%	100%	

(2) 第2次射水市障がい者基本計画における施策の体系

	基本方針	主要施策
ア	交流と啓発の推進	①理解・啓発活動 ②福祉教育・人権教育 ③交流、ふれあいの機会の充実 ④ボランティア活動の支援 ⑤地域ネットワークづくり
イ	保健・医療、生活支援の充実	①早期発見、早期療育 ②保健、医療、リハビリテーションの充実 ③在宅福祉サービスの充実 ④日中活動の場づくり ⑤居住支援 ⑥権利擁護の推進 ⑦経済的支援の充実
ウ	教育・育成、雇用・就業の促進	①特性に応じた一貫教育 ②活動の機会の充実 ③就労支援、就労の場の確保
エ	安全・安心な生活環境の確保	①バリアフリー化、ユニバーサルデザイン ②防災・防犯対策
オ	相談・情報提供体制の充実	①相談体制 ②情報提供体制 ③自立支援ネットワーク

(3) 令和4年度障がい者差別解消及び障害理解促進事業実施状況

(表中の令和5年度記載の実績値は令和5年8月末現在)

ア 交流と啓発の推進

①理解・啓発活動

事業名	内容	実施状況	令和5年度
出前講座	・5講座(障害者差別解消法とは、障がい者福祉サービス、障害者虐待防止法とは、手話を学ぼう、点字を学ぼう)	・手話を学ぼう 1回 ・障がい者福祉サービス 1回	実施中 「手話を学ぼう」5回実施
広報等による市民への周知	・広報、ホームページ等に障がい者理解の促進について掲載している。	実施	実施中
「障がい者週間」の啓発活動(社会福祉課)	「障がい者週間(12月3日から12月9日まで)」に合わせ、障がいのある方の作品展示や事業所製品の販売等を行っている。(市役所エントランスホール、中央図書館)	12月2日～ 12月13日	12月2日～ 12月12日 (予定)
理解促進・啓発事業(社会福祉課)	市民が障がい者と交流する機会を設定し、障がい者等に対する配慮等の理解を深めている。 (3年度：市内3法人に事業委託)	計3回 (各法人ごとに1回実施)	市内3法人に 事業委託
ヘルプマーク(社会福祉課)	義足や人工関節を使用しているなど外見からは分からない方々に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるようにかばん等につけるマークを県が作成し、市町村窓口等で配付している。	117個交付 (累計611個)	実施中 (49個交付)

②福祉教育・人権教育

事業名	内容	実施状況	令和5年度
手話普及事業(社会福祉課)	聴覚障がい者及び手話通訳士が小学校等を訪問し、簡単な手話での挨拶等を学ぶ小学校手話教室を開催している。	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施	実施予定

③交流・ふれあいの機会の充実

事業名	内容	実施状況	令和5年度
手話通訳士の派遣(社会福祉課)	市主催の行事等に手話通訳士を派遣し、聴覚障がい者の社会参加を促進している。(3年度：12回派遣)	12回派遣	実施中 (1回)

障がい者スポーツ大会等 (社会福祉課)	障がい者スポーツ大会等の開催準備や大会への参加を支援している。	・陸上競技会 ・フライングディスク大会 ・卓球競技会	・陸上競技会 ・フライングディスク大会 ・卓球競技会
------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

④ボランティア活動の支援

事業名	内容	実施状況	令和5年度
ボランティア活動支援 (社会福祉課)	・手話、音訳、点訳など障がい者を支援するボランティア団体等の活動を支援している。 ・手話サークル3団体、音訳、点訳ボランティアへの補助を行っている。	5団体補助	5団体補助
	ピアサポート活動を行う市内2法人に対し、事業委託している。	2法人 事業委託	2法人 事業委託

⑤地域ネットワークづくり

事業名	内容	実施状況	令和5年度
ケアネット活動 (地域福祉課)	地域の住民、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会等が障がい者を身近な地域で見守り、支え合う活動を推進している。 (3年度：チーム員数390名、利用者数231名、活動延べ回数50,868回)	チーム員数 484名 利用者数 229名 活動延べ回数 45,769回	活動実施中

イ 保健・医療、生活支援の充実

⑥権利擁護の推進

事業名	内容	実施状況	令和5年度
射水市障がい者虐待防止ネットワーク会議 (社会福祉課)	被虐待障がい者の迅速かつ適切な保護等の体制整備に関する事、障がい者虐待防止に関する事を協議している。	11月16日 開催	9月28日 開催
成年後見制度の利用促進 (地域福祉課) (社会福祉課)	市では、成年後見制度利用相談会を毎月開催している。 呉西地区成年後見センターで成年後見制度の相談、利用支援を実施している。	・市相談会 12回開催 ・センターでの相談事業 法人後見(219件) 個別(延べ12件) (射水市分)	・市相談会 5回開催 ・センターの相談事業 (随時実施)

ウ 教育・育成、雇用・就業の促進

③就労支援、就労の場の確保

事業名	内容	実施状況	令和5年度
射水市障がい者活躍推進計画 (人事課)	障がい特性や個性に応じて能力を有効に発揮できるよう市役所全体として取り組むため、障がい者の法定雇用率の達成目標、体制整備等についての計画を策定している。 (令和3年度：実雇用率3.11%) (法定雇用率2.6%)	実雇用率 2.83% (法定雇用率 2.6%)	実施
市職員採用試験 (人事課)	障がい者に配慮した職員採用試験方法を導入している。(点字受験等)	行政(障がい者)の採用試験実施	行政(障がい者)の採用試験実施
障がい者就労施設等からの物品等の調達 (資産経営課) (社会福祉課)	市の封筒に「射水市」の点字打刻作業や公衆トイレの清掃等を障がい者就労施設等に発注している。 (3年度：22件6,626,209円)	23件 7,640,707円	実施予定 22件 7,359,736円
障害者雇用奨励金の交付 (商工企業立地課)	国等の助成金支給期間満了後も引き続き常用労働者として市内居住の障がい者を雇用する事業主に対し、奨励金を交付し、障がい者雇用を促進している。 (3年度：2件、120,000円)	5件 300,000円	実施中

エ 安全・安心な生活環境の確保

①バリアフリー化、ユニバーサルデザイン

事業名	内容	実施状況	令和5年度
コミュニティバスの低床式バス導入の推進 (生活安全課)	新規車両購入時には、低床式バスの導入について要望している。 (3年度：32台のうち25台に導入)	35台のうち 27台に導入	導入予定
点字ブロック設置工事 (社会福祉課)	毎年、視覚障害者協会の要望等に基づき、視覚障がい者用の点字ブロックの整備を進めている。	大門二口地内整備区間延伸 (24m)	大門二口地内整備区間延伸 (24m予定)
いのちのボタン (地域福祉課)	医療情報や緊急連絡先等の情報を「いのちのボタン」容器に入れ、冷蔵庫に保管し救急時や災害時に活用している。 (3年度末：2,207件登録、高齢者含む)	2,333件登録 (高齢者含む)	実施中
車いすや歩行器を配備 (資産経営課)	庁舎入口に車いすや歩行器を配備している。 本庁舎：車いす4台・歩行器2台 大島庁舎：車いす1台・歩行器1台配備	配備 (前年と同数)	配備 (前年と同数)

富山県ゆずりあいパーキング(障がい者等用駐車場)利用証 (社会福祉課) (介護保険課) (保健センター)	車いす使用者など歩行が困難な方に、利用証を交付することで、障がい者等用駐車区画の円滑な利用を促進する。県が作成し、市町村窓口等で配付している。 (3年度末：交付数 82 件 (累計 405 件))	交付数 147 件 (累計 552 件)	実施中 (49 件配付)
射水市バリアフリーマスタープラン (生活安全課)	地域における高齢者や障がい者などが日常生活や社会生活を確保する上で生活の支障となる物理的障害や精神的障害を取り除き、都市整備等と連携したバリアフリー化を推進する (3年度：越中大門駅のエレベータ設置を中心とした基本構想を策定)	越中大門駅へのエレベータ <u>こ線橋</u> 設置に向けて基本設計を実施。※「こ線橋」とは、鉄道線路の上に、またがってかけた橋。	(R5~6年度) 越中大門駅へのエレベータこ線橋設置の詳細設計に向けて、地質調査及び測量を実施予定。

②防災・防犯対策

事業名	内容	実施状況	令和5年度
避難行動要支援者支援制度 (地域福祉課)	災害時避難等に不安があり手助け(援護)を必要とする方を事前登録し、災害時等に地域で支援を行う制度を推進している。(3年度末：1,361人(高齢者含む))	登録者数 1,306人 (高齢者含む)	実施中
福祉避難所の指定 (地域福祉課)	災害発生時に、市指定避難所での生活が困難な高齢者や障がい者等、特別な配慮を必要とする方を受け入れる避難所を指定している。(3年度末：54か所)	54か所	54か所
射水市防災訓練 (総務課)	防災訓練時に障がい者を含む避難行動要支援者が参加し、福祉避難所の立ち上げや移送等の訓練を実施している。	10月23日 (池多地区)	実施予定 10月29日 (七美地区)
円滑な通報環境の整備 (消防本部)	聴覚障がい者のため、急病やけが等による救急、火事等の緊急時の連絡をFAXで受付している。 (3年度：着信件数20件(テスト含む))	着信件数 0件	実施中
	(NET119) 聴覚や音声、発話等に障害のある方が、スマートフォンやタブレットの画面から、文字やテキストを使って、事故や急病等の通報を行うことができる。 (3年度登録者数：37名)	登録者数 37名	登録者数 39名

オ 相談・情報提供体制の充実

① 相談体制

- 地域相談員（富山県委嘱） 令和4年度末 118人（3年度末：67人）
- 地域活動支援センター「あいネットいみず」「つどい」「ふらっと」「むげん」
 - ・障害に関する総合相談窓口として相談支援を実施
 - ・障がい者や、その家族が創作活動や生産活動を通じて社会との交流を図る事業の提供
- 射水市ふくし総合相談センターすてっぷ（市社会福祉協議会）
 - ・毎月市広報に連絡先を掲載

②情報提供体制

事業名	内容	実施状況	令和5年度
封筒の点字打刻 （資産経営課）	市からの文書であることが判断できるように封筒に点字打刻している。 （前年：156,000部）	186,900部 実施	184,000部 （予定）
拡大読書器等の 設置（市民課）	各地区センター窓口に拡大読書器1台を設置している。	設置	設置
タブレット端末、磁気ループの活用 （地域福祉課） （社会福祉課）	社会福祉課窓口にタブレット端末及びポータブル磁気ループを設置している。救急薬品市民交流プラザ内にポータブル磁気ループを配備している。	設置	設置
声の広報の運用 （社会福祉課）	視覚障がい者（希望者）に対し音訳ボランティアによる音声の広報を毎月送付している。（3年度：延べ102人、3,005分）	利用者 延べ97人 所要時間 延3,001分	実施中
リーディングサービス （社会福祉課）	視覚障がい者（希望者）に対し音訳ボランティアが電話による新聞朗読をしている。（毎週木曜日の午後）（3年度：49回）	44回	実施中
手話通訳付きデマンドTV （未来創造課）	市長定例の記者発表や市長のタウンミーティングをケーブルテレビ等で放映している。 ・市長定例会見（3年度：毎月） ・タウンミーティング（3年度：8月実施）	市長定例会見 （毎月）	・市長定例会見 （毎月） ・タウンミーティング （7月実施）
手話通訳者・要約筆記者の派遣	聴覚、言語機能等の障がい意思疎通を図ることが困難な方（希望者）に対し、通院や研修会参加時など手話通訳者や要約筆記者を派遣している。 （富山県聴覚障害者協会に委託し実施） （前年：手話通訳55件、要約筆記0件）	手話通訳 69件 要約筆記 0件	実施中
手話通訳士の配置	手話通訳士の有資格者を配置している。	地域福祉課に配置	地域福祉課に配置

③自立支援ネットワーク

事業名	内容	実施状況	令和5年度
射水市障がい者総合支援協議会 (社会福祉課)	障がい者が地域で安心して暮らすことができる支援体制や地域活動支援センターの活動状況、相談支援状況及び障害福祉計画策定等について協議している。 (3年度：1回：7月7日)	1回 (7月20日)	4回開催予定 (6,8月開催) (11,2月予定)
障がい者サービスガイドブック (社会福祉課)	障がい福祉の諸制度やサービスについて紹介したガイドブックを発行している。 (ルビ付き版も用意)	・窓口で交付 ・HPに掲載	実施
射水市における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領 (社会福祉課)	市職員が対応するために必要な事項を定め、周知を図っている。	庁内掲示板にて周知	庁内掲示板にて周知

(5) 差別に関する相談・通報について

(件)

年度	射水市		富山県	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
相談・通報件数	0	0	12	17